

# 国の登録有形文化財「木下半助商店」登録された4件の建造物を解説

木下半助商店は、古くは参勤交代の行列を相手に、旅道具の売買を行う道具屋として商いをしていたと伝えられています。その後、金物屋を営むなど、時代に合わせて商売を変え、発展してきました。

奥に細長い敷地には、店舗、土蔵、石蔵、主屋、稲荷社等が建てられています。かつては、金物を蔵に運ぶトロッコ用の線路が建物脇に敷かれていたそうです。

建物には紫檀、黒檀、鉄刀木などの銘木が使われ、凝った意匠が多く見られます。また、明治32年の大火の後に建てられたこともあり、随所に防火対策が施されています。

## 店舗および土蔵

〈年代〉 明治後期

〈構造・形式〉 木造平屋建および土蔵造2階建、鉄板葺および銅板葺、建築面積71平方メートル

〈解説〉 通りに接した正面には、



▲土蔵入口

摺り戸を残し、1階は帳場の雰囲気を残した店舗となっており、屋根裏は商品の置き場として使われていました。明治32年の越谷町大火の後に建てられたと伝えられています。

土蔵は、明治時代後期に建てられたと考えられ、外壁は2階妻面が銅板、その他は黒漆喰となっており、気品と重厚感をたたえています。屋根には、本商店の印である「キ」の字が細工されています。明治期の越谷における商店の面影をよく伝えています。

## 主屋

〈年代〉 大正6年ごろ

〈構造・形式〉 木造2階建、瓦葺、建築面積48平方メートル

〈解説〉 敷地の奥寄りに建つ離れ座敷のような趣の住宅。柱などの材木は高価なものが使用されているほか、床廻りや透彫欄間に和洋の銘木を使い、細部の装飾にも意匠が凝らされています。



▲主屋

## 稲荷社

〈年代〉 大正6年ごろ

〈構造・形式〉 木造平屋建、銅板葺、覆屋付、建築面積1.6平方メートル



▲稲荷社(覆屋)



▲稲荷社

〈解説〉 屋敷神としては大きく立派なもので、主屋と同時期に建てられたと伝えられています。一間社流造形式で、随所に技巧的で表情豊かな彫刻が施されています。風雨から保護するために覆屋で覆われています。



▲付書院塵落としの細工

\*店舗として営業しているため一般公開は行っていません

## 登録有形文化財 (建造物)とは

文化財保護法に基づき、保存や活用についての措置が特に必要な文化財建造物で、文部科学大臣により文化財登録原簿に登録される。対象は、建築後50年を経過している建造物で、国土の歴史的景観に寄与しているなど、一定の評価を得たもの。

## 12月議会が開かれています

12月定例会が12月1日から市役所議場で開かれています。

12月1日	開会
2日	閉会中の継続審査案件の報告
3日	閉会
4日	市長提出議案の説明
5日	議案調査のため
6日	休会
7日	市政に対する一般質問
8日	休日のため休会
9日	市政に対する一般質問
10日	市長提出議案の質疑
11日	各常任委員会開催
12日	閉会
13日	休日のため休会
14日	各常任委員会開催
15日	休会
16日	各常任委員会開催
17日	質疑・討論・採決
18日	閉会

閉会中について：議会事務局 ☎96339261、議案について：文書法規課 ☎9639130

## 来たれ若人！ 市長とふれあいミーティング参加者募集

今回は、ふだん市長が意見交換する機会が少ない若年層の皆さんから、直接意見をいただきます。

今年度は、ふだん市長が意見交換する機会が少ない若年層の皆さんから、直接意見をいただきます。

申込期間：12月18日(金)まで

申込料：100円(申込書代)

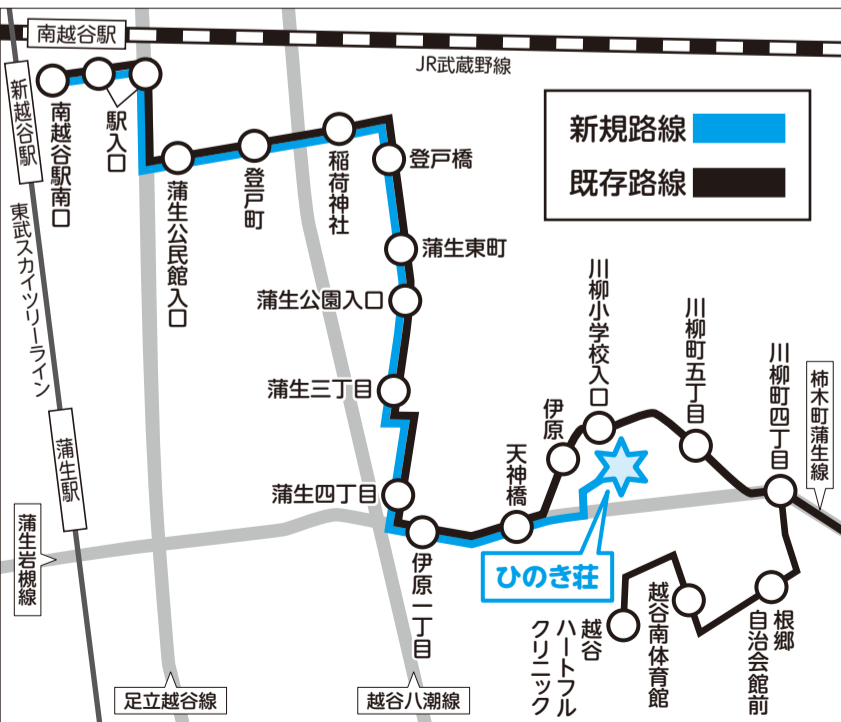
申込先：〒100-0001 東京都千代田区千代田1-1-1 市役所本庁舎2階へ(メール、17、FAX 96510943)

お問い合わせ：〒100-0001 東京都千代田区千代田1-1-1 市役所本庁舎2階へ(メール、17、FAX 96510943)

## ひのき荘行きのバス路線が開通

越谷市立老人福祉センター「ひのき荘」のオープンに合わせ、「南越谷駅南口～越谷市立老人福祉センター(ひのき荘)」線が開通されます。ひのき荘をご利用の際は、市内バス路線の維持・充実のためにも、ぜひご利用ください。

〈運行経路〉 下図のとおり  
〈運行開始日〉 12月1日(火)  
〈運行本数〉 1日8本  
〈運行事業者〉 朝日自動車(株)



問朝日自動車(株) ☎970-5170、越谷市都市計画課 ☎963-9221